

ウォーキング

初詣・福王神社

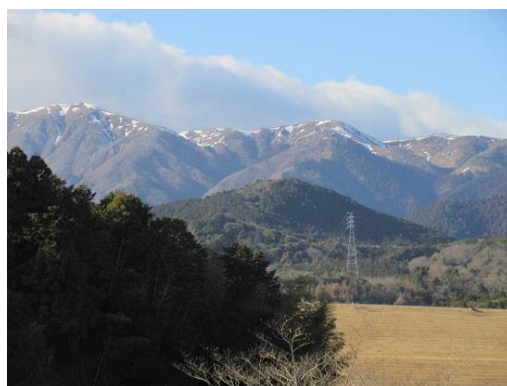
令和5年1月19日（木）

1. ルート 近鉄四日市駅＝バス乗車＝福王山～福王神社～福王山＝バス乗車
＝近鉄四日市駅 6.0 km (11,000 歩)
2. 参加者 伊藤利男・伊橋健治・喜吉 雄・伝田 貢・中村 衛
福本 泉・濱田 一 7 名
3. ドキュメント

「あけましておめでとうございます。今年もよろしく」とあいさつを交わして近鉄四日市駅前に集合。今年の初詣は菟野町の福王神社となる。午前10時の福王山行のバスに乗り込んで出発地点に向かう。乗客は我々だけで貸し切りバス状態であった。車窓を楽しんでいるうちに終点福王山に11時到着する。バス停のところに鳥居と常夜灯そして狛犬があり迎えてくれている。その昔は鳥居の道幅で福王神社まで歩いたのであろうか。鈴鹿の山を見渡すと山頂に斑な雪をかぶっている景色がみられる。「今年の冬は比較的暖かく雪も少ないのであろう」と話し合っ歩き。【然にあらずこの一週間後に寒波が訪れ、四日市でも20cmを超える積雪になろうとは誰が思っただろうか・・・この地を走っている新名神では雪で動けなくなった車で大渋滞が発生している】この日は風もなく暖かな日とで絶好のコンディションであった。



福王山の鳥居と常夜灯



鈴鹿の山並み



福王湖



坂道を歩く

坂道を歩いていくと人工の福王湖(宮川ダム)の湖畔に辿り着く。そして福王ゴルフ場に沿って足を進めていく。このゴルフ場今は閉鎖され太陽光発電所に変貌していたのでびっくりである。喘ぎあえぎ登っていくと 11 時 50 分駐車場に到達する。駐車場の案内板にこの先急坂と矢印が出ていて『嘘だろう』とつぶやく。茶店の横に天狗の看板が出ていてこの神社は天狗伝説のところであったことを思い出す。



この急坂の道はウォーキングではなくまるっきり登山に近いものである。高低差を調べてみるとバス停が 104m、参道入口が 318mそして社殿の標高は 376m この寒さの中、防寒着を一枚脱ぎ汗をかいて登ったのも納得である。参道の入口に 12 時丁度到着する。ここからは杉林の中の石段となり冷やかな風が流れていてパワースポットを感じる。石段の数を数えて登った人がいて 237 段とか 12 時 20 分 福王神社に参拝する。



急傾斜の道を登る



参道の入口に着く



杉林の中の 237 段の石段の参道



福王神社の社殿



神木の杉・鳥居が小さく見える

立派な社殿と御神木の杉を拝謁するところまで登ってきた御利益はきっとあるであろう。「今年も元気で歩けることを祈願する」

参拝後は山を下り、駐車場の近くで昼食を摂る。そしてバス停に戻って 15 時 14 分のバスで四日市に戻る。

福王神社

菰野町田口の鈴鹿山麓にあって阿弥陀が刻んだ毘沙門天を聖徳太子の命により安置したと伝えられている。天狗信仰にまつわる伝説の多いところで昔、堂付近を通ると天狗が危害を加えると恐れられたため、桑名藩主松平定綱は付近の木を多く伐り払ったところ天狗が現れなくなったとの伝えもある。(菰野町の文献より)



参道入り口で全員集合